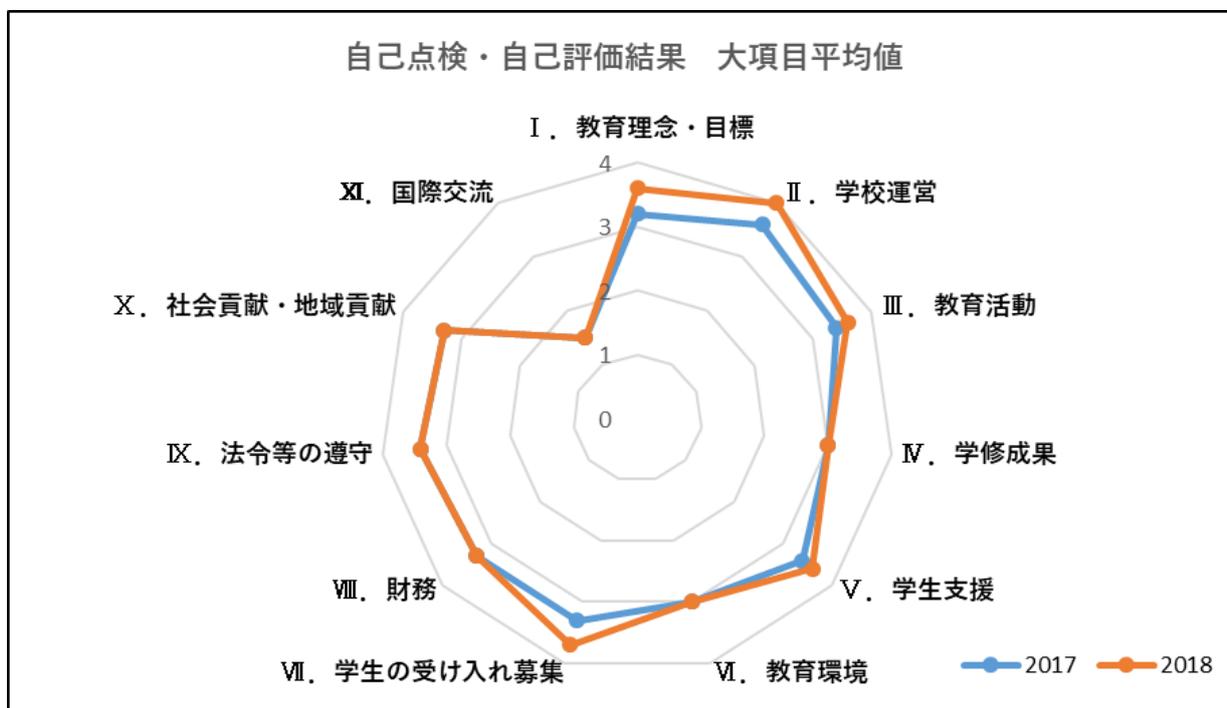


1. 2018年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 組織が円滑に機能するよう連携を密にし、組織の活性化・効率化を高める
 - ・組織における役割の明確化と情報の共有
 - ・チームとしての業務遂行
 - ・学籍簿管理システムの適正な運用
 - ・危機管理に備えた組織体制づくり
 - ・学校運営経費の適正な運用
 - ・勤務時間管理と自己管理
- 2) 国立病院機構に貢献できる優秀な人材の確保と育成
 - ・高等学校との連携強化と広報活動の推進
 - ・公開講座の運用
 - ・学習・実習環境の充実
 - ・群馬県下の国立病院機構への就職率を100%
 - ・看護師国家試験の合格率100%を維持
- 3) 教育の充実を図るために教育課程の検討や研修の充実を図り、教員の指導力の向上に努める
 - ・専門領域ごとの教育内容の充実
 - ・研究成果を発表する
 - ・教員のキャリアアップ（看護実践力・管理能力）を図る
 - ・教員インターンシップの開催
- 4) 学生が主体的に考え、判断し、行動できる基礎的能力を育成する
 - ・学生に役割を付与し、履行できるように支援する
 - ・学生自治会（看護の日、クリスマス会）・学生フォーラムへの支援
 - ・アクティブラーニングの活用
- 5) 学生にとって、公平で相談しやすい学校組織の充実を図る
 - ・学生一人ひとりの成長・課題に合わせて、きめ細やかにタイムリーな指導
 - ・学生の声に耳を傾け、学校職員にその声が届くよう話しやすい雰囲気づくりに努める
 - ・自己点検・自己評価を実施し、公表する（学生・保護者を含む）
 - ・卒業時カリキュラム評価を、平成29年度以上を維持できる

2. 2018年度自己点検・自己評価の実施・結果

評価は、領域Ⅰから領域Ⅺまでの大項目、66の評価項目、評価得点、備考で構成されている。評価得点は、不適切…1、やや不適切…2、ほぼ適切…3、適切…4の4段階である。



<今後の改善点>

I. 教育理念・目標

- ・学校の将来構想を明確にする。そのうえで活動状況をPRし、社会に向け発信していく。

II. 学校運営

- ・学校の運営方針を教員個々の年間目標に反映させていく。

III. 教育活動

- ・国立病院機構関東信越グループ内の看護学校と相互評価を実施している。今後は、第三者または外部からの評価システムを検討する。

IV. 学修成果

- ・就職先の施設との連携や同窓会との共同により、卒業生の動向について把握できるよう計画する。

V. 学生支援

- ・入学している社会人に対して調査をおこない、社会人のニーズの把握に努める。

VI. 教育環境

- ・災害訓練を通して、防災への意識付け、様々な場面における危険の回避や避難の方法について理解できるようなシステムを検討する。また、状況に応じて安全に行動できるような対策（アクションカードの作成）の導入を検討する。

VII. 学生の受け入れ募集

- ・オープンスクール等を利用して、学生だけでなく保護者に対して本校の魅力を伝える機会を設ける。

VIII. 財務

- ・物品を定数化し、計画的な経費削減を図る。

IX. 法令等の遵守

- ・実習記録の管理が徹底できるような体制を整える。

X. 社会貢献・地域貢献

- ・社会貢献、地域貢献できるようボランティア活動に取り組む。

XI. 国際交流

- ・留学生の受け入れに関して、規定を検討していく。